

ひょうごけん うみ み い もの 兵庫県の海で見られる生き物

かいすいよく とうらい こんかい ひょうごけん うみ み い
海水浴シーズンの到来です。今回は、兵庫県の海で見られる生き
もの しょうかい
物について紹介します！いずれも、浅瀬で見つけられる身近な生
き物です。実際に海へ行って探してみましよう！



イトマキヒトデ



イトマキヒトデのお腹側

イトマキヒトデは水の浅い岩場にいます。腕
は 5本のもので多いですが、4~7本のものもいま
す。

見つけたら、裏返してみましよう。お腹側の真ん
中に口があります。餌（貝や魚の死骸）を食べる
ときに、口から胃袋を出して餌を包み込んで食べ
ます。

お腹側にある白い管は足で、先が吸盤になって
います。この吸盤のついた足をもっているの
で、岩などに張りついたり、移動したりすることが
できます。

ウニの食べ物は海藻です。ウニのとげは、海藻を
食べ続けるウニたちを危険な敵から守る役目をして
います。

ウニの口は、お腹側の真ん中にあります。口には
硬くて鋭い歯が 5本あり、海藻を小さくかみちぎ
って食べます。そして腸で消化した後、背中側の真
ん中あたりにおしりから糞として出します。



ムラサキウニのお腹側

アメフラシは貝の仲間です。外からは見え

ませんが、背中の膜の中に薄くて小さな貝殻があります。大きさは15cmくらいのをよく見かけます。

驚いたり体を押されたりすると、紫色の汁を出します。水の中で紫色の汁が広がる様子が雨雲のように見えるので、アメフラシという名前がつけられました。

多くの生き物は、自分の周りの環境と似た色の体で、敵に見つかりにくくしています。これを保護色といいます。



アメフラシ



海の中ではこんなふうに見えます。どこにいるか分かるかな？



アオウミウシ



シロウミウシ

ウミウシも、貝の仲間です。子どものとき

きは薄くて小さな貝をまとっていますが、大きくなると貝は脱ぎ捨ててしまいます。

ウミウシはきれいな色をしたものが多く「海の宝石」と呼ばれています。アオウミウシやシロウミウシの大きさは4cmくらいです。

ウミウシは、“毒を持っているぞ、食べるとまずいぞ”と相手を警戒させるために、鮮やかな色をしているといわれています。これを警戒色といいます。

★海の中に棲んでいる生き物たちなので、水の中でやさしく触りましょう。観察が終わったら、海にかえしてあげてくださいね。

【この資料やアクティブ・レンジャーによる出前授業の問合せ先】

環境省 竹野自然保護官事務所

TEL: 0796-47-0236 FAX: 0796-47-0249